

放射線新人教育 手順

1. 教育担当者の選任

技師長は、教育担当者（年齢の近い者）を選任する。教育担当者は新人技師に対し研修プログラムにそって各項目を指導し、その評価者として研修プログラムに記載する。各モダリティの習得については担当技師が指導する。

2. 期間

専門職としての技術習得

- ① 一般撮影 4 週間
- ② 透視・骨密度 2 週間
- ③ CT 3 週間
- ④ MRI 3 週間
- ⑤ 血管撮影 上記取得後 他の技師の指導の下
- ⑥ 画像管理 上記業務と並行して行う。

3. 研修・その他

技師長は、新人技師に対し必要と認められる場合、他施設の見学・研修会への参加をさせる場合がある。

4. 夜間勤務・日直など 1 人体制の開始（新卒新人で 3～4 か月目安）

技師長は、新人技師の実践技術の習得状況を判断し、業務に支障がないと認めた場合、夜間勤務・日直などの 1 人勤務体制を開始する。

2021.9.10 作成